

審査から 令和5年度 決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月9日・10日・17日に議案7件、認定2件、請願2件の審査を行いました。

委員 近隣自治体の補助制度はどのようになっているか。
障がい福祉課担当課長 多摩26市の補助事業の実施状況ですが、タクシートの運賃補助を実施している団体、請願にありましたように用途を限定しない方式で実施している団体、23団体、町田市を含めて通院等に用途を限定している市が2団体、実施していない団体が1団体となっています。
委員 請願の要旨に外出困難な場合の事例として、「特に、肢体障がい者のなかでも歩行が困難な方や、視覚障害者に支援者がいないとき等」が挙げられていたが、多摩26市において、対象者の制限を設けている団体はあるのか。

障がい福祉課担当課長 対象者の制限の方法は主に2つあり、1点目が障害者手帳における総合等級を基に対象者を制限する等級制限があり、こちらは、町田市を除く全ての実施団体において設けられています。もう1点目が、所得が一定額を超過した方については助成をしないという制限で、20市実施しているうち14市が設定しています。
委員 タクシー運賃補助の実施方法と多摩26市の状況は、障がい福祉課担当課長 実施方法について、タクシー券の方式で実施しているのが13市、タクシーに限定した償還払いの方式で実施しているのが7市、タクシー以外の公共交通も含めた償還払い、町田市を含め2市となっています。手当の方式で実施しているのが3市となっています。

総務

9月9日・10日・17日に議案4件、認定1件の審査を行いました。

堺市民センター改修工事請負契約
委員 全施設が工事期間全体で、駐車場を含めて使えないということか。
営繕課長 施設は利用していただきながら、1階、2階とかスペースを変えながら工事手順を考えていまして、施設を休館して進めるということではありません。
委員 奥のほうの駐車場があるの、そのあたりがどうなっているのか。
堺市民センター長 駐車場については、工事車両とかクレーン車などが入りますので、一応利用はできないという事になっています。

委員 実際は堺地区の方の場合、交通手段上は車で来ないと難しい人たちが多いのではないのか。どこか別の場所を確保することか。
堺市民センター長 現段階としては、駐車場は別途用意することは考えていません。思いやり駐車場と障がい者用の駐車場が2台確保されていますので、それは使えるようになります。ほかに体が不自由な方がいますので、そういった方用に何台かは用意したいとは思っています。ただ、基本的に一般の利用は、目の前にバス停もありますので、公共交通機関等で来ていただくように考えています。
委員 履行期限は25年11月7日までとあるが、この期限に終わらないような場合、周知はどういうふうにするのか。
堺市民センター長 工期が延びた場合、登録してある団体等には通知等を行い、ホームページとかを使いながら周知していきたいと思っています。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- まちだ福祉○ごとサポートセンターにおいてこれまで行政に関わっていなかった方にもアプローチを行い、困りごと相談につなげていくよう努められたい。
- 地域活動支援センター「まちプラ」については、設置箇所の拡充も含め、さらなる利用者増のため、検討されたい。
- 重度身体障がい者訪問入浴事業において、夏季の利用回数を増やすよう努められたい。
- シルバーピアについては、高齢者住宅管理事業という目的を再認識し、事業における課題解決は、入居者内に孤立するのではなく、町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクトにつなげるなどして、本来の事業目的である単身の高齢者や高齢者のみの世帯が、住み慣れた地域で安心して居住できる環境の提供により努められたい。
- 自立支援の学習塾への補助については、必要とする世帯が多いことが予想されるため、対象者への周知の方法や利用のしやすさに課題がないか、不用額となった原因を研究したうえで利用の促進に努められたい。
- 生活介護費の就労準備支援事業については、拠点の拡大とともに若者支援が必要と考える。庁内連携はもとより、より多くの人に情報が届くよう周知の仕方について検討されたい。
- 子宮頸がん検診の20代の受診率が低い。若い世代への周知活動として、和光大学での取組を市内の他大学にも広げるよう検討されたい。
- 外国人妊婦へ母子手帳を渡す際には、出産、育児に関する支援制度や日本の教育制度等の情報提供（英語だけでなく）の充実にも努められたい。
- 国保税滞納者に対しては丁寧な分納相談、他部署と連携して生活再建の支援につなげるよう努められたい。
- 認知症サポーターで地域活動の情報提供を希望し、登録している人が地域活動につながっていく取組を推進されたい。

【認定第3号】

- 内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入等により、高度な医療サービスを提供することは、患者の治療・回復、満足度などに効果が現れている。さらに、副次的効果として、医師、看護師の確保、収益改善など病院経営改善にも貢献している。今後も積極的に生かされたい。
- 保育室においては、入院患者の子どもや兄弟姉妹が利用できるなど、柔軟な対応に努められたい。

など計54件の意見を附帯決議として付しました。

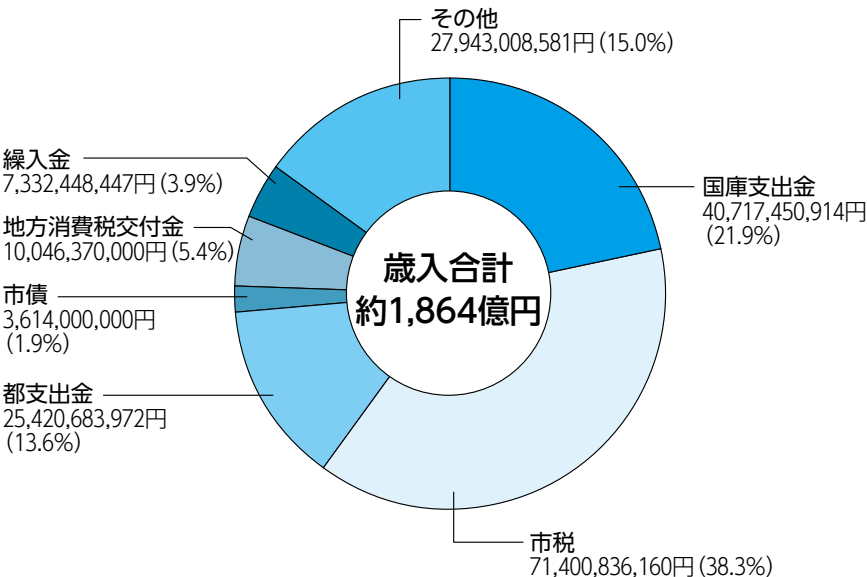
決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- 市長への手紙については、他自治体の状況を参考にして、内容の公開を今以上に進めるとともに、傾向分析についてはジェネレーティブAIを活用し偏りなく効率的に行い政策立案の参考にされたい。
- 会計課の資金の運用に関して、金利の動向を注視しながら、より安定した収益が見込める債券の保持を図られたい。
- 行政財産に設置されている売店と自販機について、社会福祉法・母子父子寡婦福祉法の趣旨に則り、特に指定管理者には法の趣旨を理解していただき推進されたい。
- 次世代自動車導入が年間ゼロとならぬようリースのみでなく様々な方法を検討し推進されたい。
- いじめ問題調査委員会の答申で指摘のあった内容については、市長部局に関わる部分だけでなく学校教育に関わる部分についても、政策経営部においてその指摘の内容の改善状況を確認し、庁内一体となって連携の上、課題解決に努められたい。
- 障がいのある方や高齢者の投票における配慮への理解を進めるため、市の取組について広く周知啓発に努められたい。
- 公開したオープンデータファイルの件数を増やすとともに、市民のオープンデータの活用への理解が進むよう具体的な事例についても積極的な情報発信に努められたい。
- 町田市勤労者福祉サービスセンターについては加入事業所数の増加に努め、商工会議所をはじめとした他団体との連携など外部との積極的な情報交換を行い、ニーズの掘り起こしも行うよう検討されたい。
- 市街化調整区域内の遊休農地に関して、農業の発展拡大に寄与する観点から必要な整備が拡充するように図られたい。
- 物価高騰の影響を受けた事業者への負担軽減支援について、中長期的な取組も検討されたい。
- 中心市街地歩行者通行量の目標設定に関しては、一律に長期目標を毎年固定して設定しているが、現実に即して中期的な目標数値を具体化して設定し、現状の政策課題に反映されるように改善を図られたい。
- 消防団の魅力向上の手段として、活動に役立つ資格取得の補助の充実を検討されたい。
- 消防団については、実際に支援が必要な際に対応ができるかという視点を大切にして、団員の確保に努められたい。
- 消防少年団との協働に努められたい。

など計54件の意見を附帯決議として付しました。

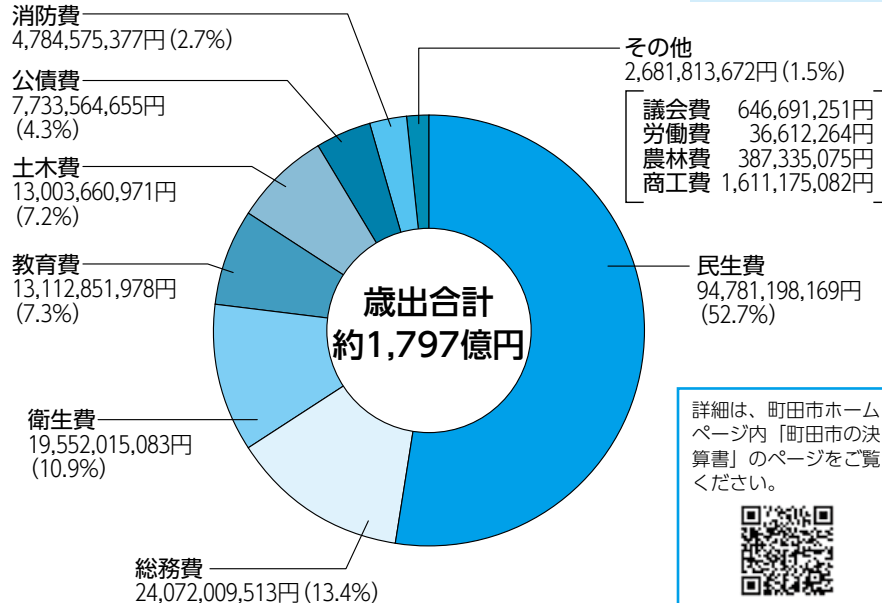
令和5年度 歳入決算額の内訳(一般会計)

歳入合計額
186,474,798,074円



令和5年度 歳出決算額の内訳(一般会計)

歳出合計額
179,721,689,418円



詳細は、町田市ホームページ内「町田市の決算書」のページをご覧ください。

